

令和6年度 普天間小学校の取り組み

1 研究主題名

コミュニケーション能力を育む指導の工夫

～伝え合おうとする積極的な態度を喚起する活動の実践を通して～

2 研究主題設定の理由

本市では、小学校英語教育課程特例校事業として、「児童生徒の生きる力の育成及び国際化の時代に必要 な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むこと」を目的とし、各小学校において英語教育を実施している。本校では、担任と ALT のチームティーチングによる指導を行い、児童も英語の時間を楽しみにしており、意欲的に参加している。

授業では発達段階に応じた語彙の獲得や挨拶、簡単な日常会話のスキル、歌やゲームなどを通じた楽しい英語に加え、学校行事や他教科と関連させたクロスカリキュラム的な方法で外国語への興味関心を高めてきた。しかし、このような活動だけでは与えられた形式をただ声に出しているだけで、思考力をあまり働かせなくてもできてしまう。また、語彙の獲得に個人差が見られることも課題として挙げられてきた。そこで、児童が潜在的に持っている「友達と気持ちを伝え合いたい」という積極的な態度を喚起する授業の工夫を本年度も継続して行うことで学びの質を向上させ、語彙の獲得やコミュニケーション能力の素地の育成につなげていく。さらに、伝え合おうとする積極的な態度を喚起する言語活動の充実を図り、相互交流のあるやりとりを工夫することで、児童の外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地を育成する。

そこで、本年度は発達段階に応じた児童主体となる体験的な活動や場を増やし、6 学年では教科担任制を導入して、より英語に親しみ身近な日常会話の場の設定ややりとりの工夫を行っていく。

本校では、単元の目標を見据えた指導計画を作成し授業計画の段階から HRT と ALT が連携して単元目標 を設定しスモールステップで小単元のゴールを設定しコミュニケーション能力の素地の育成を目指す。

また、授業内だけでなく休み時間や給食時間、クラブ活動等においても ALT との関わりを通して日常的に英 会話を楽しむ児童を育てていきたい。本年度もこれまでの成果を元に、児童主体となる授業改善を通して積極的にコミュニケーションを図り、伝え合おうとする積極的な態度喚起する活動の実践を目指していきたい。

3 研究の主な内容

(1) 目標

【低学年】

◎英語に触れる。

- ・歌・リズム遊び・ゲームなどの活動を通して、英語のリズムやイントネーションを体で感じとり、楽しく英語に触れる。

- ・英語をよく聞き，進んで発話する。
- ・行事やイベントを通して，外国と日本との文化の違いに気づき，外国のことに興味や関心を持つ。

【中学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。

②話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。

③話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

【高学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。

②読むこと

- ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。

③話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。

④話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

⑤書くこと

- ・大・小文字を活字体で書くことができるようにする。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

(2) 指導方針・方法

- 毎週金曜日に英語ミーティングの時間を設け，事前に英語の授業の流れを担当と ALT で確認し，授業がスムーズに行えるようにする。ALT と授業の流れや，各学年の発達段階に合わせた，語彙やターゲットセンテンスを確認する。
- 放送委員と連携し，登下校時の校内放送や，運動会などの学校行事に英語を取り入れる。
- 同じ ALT が一年を通して指導することで，互いに信頼関係が培われ，英語を積極的に話すことができるようにする。
- 日常的に外国語に触れられるよう，学級の掲示物を統一して曜日、気持ち、名前、天気 の受け答えがだれでも教室で練習できるよう工夫を図る。

4 本年度の取り組み

各学年の取り組み

1年



グループで協力しながら、体を使ってアルファベットの形を作っている様子 (左)
タブレットを使い、クイズに答えている様子 (右)

2年



体のパーツを覚える学習で「福笑い」の遊びを取り入れながら、友達と積極的に関わる様子。楽しみながら、一生

3年



アルファベットの学習。一人一つホワイトボード上に順番よく並べている様子。並べる早さを競って、楽しく学んでいます。

4年

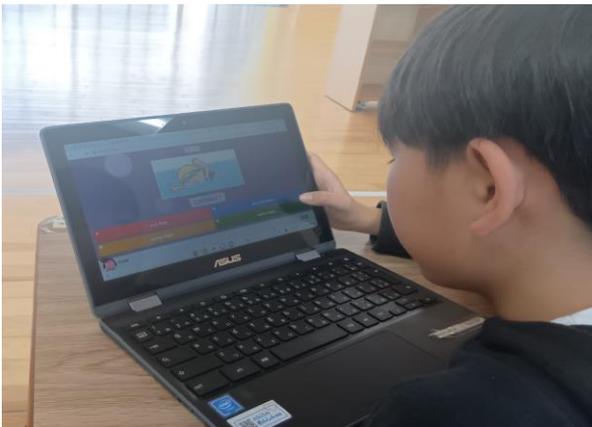


時間を学ぶ学習で、すごろくをしながら既習の単語やフレーズを友達と伝え合う様子。ゲームをしながら楽しく学習できています。

5年



レストランでメニューを伝える学習では、先生が店員役になりきることで、会話の場面設定をはっきりさせることができた。児童もその場面に入り込み、積極的に伝えようとする様子があった。



既習の単語を確認するため、タブレットでクイズを解いている様子。クイズ形式なので、意欲的に取り組む児童が多い。

6年



中学校ではどんな活動を行いたいのか、友達と話しながら、ワークシートにまとめる活動。中学生活への期待も高まって、児童同士が意欲的に関わっていた。単元の最後には発表も行い、学級全体で共有することもできた。



タブレットでワークシート作りをしている様子。

Lesson Plan

6年

トピック: 「将来の夢」 What do you want to be? (Lesson 7)

めあて: つきたい職業についてたずね合おう!

語彙: What do you want to be? I want to be a vet..

Why? I like animals very much. I want to help sick animals

学習活動と内容	教師の支援		分
	HRT	ALT	
英語ルームに入ろう!	教室に入る前に Hello! May we come in please? (全員)	Yes! Please come in!	
クラスリーダー: Sit up straight. 全員: 🙌🙌 Yes! クラスリーダー: Let's start English class! 全員:繰り返す クラスリーダー: Good morning/afternoon classmates. 全員: Good morning/afternoon class leaders and 先生たち。 It's Chants Time! *リズムに合わせて全員でやる クラスリーダー: Let's say 5 questions.	リーダーたちを前に立たせる。 Class Leaders, come here!	It's Chants Time!	5
① Let's Exercise!	Let's exercise! Stand up please!	Let's exercise! Stand up please!	5
② Small Talk : *先生たちがデモンストレーションをする *児童が分かったことを確認する HRT: "What's today's goal?" (めあての確認) めあてを黒板に書いて児童に読ませる	Listen to us! 全員: 3,2,1 ALT: Hello!...先生. What do you want to be? HRT: I want to be an artist. など。 ALT: Why? HRT: I like drawing and painting. I want to make my own artwork. ALT: Fantastic! 全員: "CUT!"		5
	Let's read today's goal 1, 2		
③ Alphabet Phonics Mm~Pp 「フォニックスクイズもやってみよう!」	Let's practice the ABC phonics!	手助けする	5

④ Let's say it together! 「音声に合わせて発音する。」	Let' s say it together!	手助けする	3
⑤ Let's Practice! (職業とそれについての理由の言い方の練習)	Let' s practice!	Let' s practice!	5
⑥ 教科書を開いて学習する。 83 ページ 「 Activity 2 つきたい職業についてたずねあい、分かったことをメモしよう！」	It' s Interview time !	手助けする	1 2
⑦ 感想を書きましょう!(Reflection Time!)	Write your comments!	” Good Job ” スタンプ	5
終わりのあいさつ クラスリーダーは前に来て、英語で終わりの挨拶をする	Today's leaders come here please. リーダー: Sit up straight ! 全員 : ok! リーダー: Let' s finish English class. 全員 : Let' s finish!	全員: Open your hands! 3,2,1 go Thank you👏👏👏See you👏👏👏 Goodbye! Rock, Scissors, paper 1, 2, 3!	

5 研究の成果と課題

(1) 成果

低学年

- ・復習を行うことで、野菜や果物等の簡単な単語が定着し、ゲームを通して、お友達と関わりながら楽しく英語に親しむことができた。【1・2年】
- ・3学期には、タブレットを活用してクイズを行うこともできた。【1年】
- ・家族の紹介をする学習では、既習の単語を使って、一生懸命に伝えようとする児童の意欲的な様子がみられた。【2年】

中学年

- ・教科書やゲーム、タブレットなど、いろいろな学習教具で、楽しく授業に参加できていた。友達へのインタビュー等の活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿が見られた。【3・4年】
- ・伝えたい言葉を考え、グループで3ヒントクイズをすることができた。また、ALT や友達の英語を理解しようと前後の言葉から推測する意欲的な態度が見られた。【3年】

高学年

- ・学んだ事柄について、簡単な英語でやり取りができた。【5・6年】
- ・アルファベットに興味を持ち単語集めができた。英語のロールプレイを積極的にする姿がみられた。【5年】
- ・外国の人に日本の良さを伝える学習では、ALT の親族とオンラインで会話する機会をつくれた。実際に外国の方と関わることで、児童にとっていい刺激となり、英語学習への意欲や関心が高まった。【6年】
- ・ALT との打ち合わせでは、単元ごとに活動内容を確認することで、見通しを持って授業に臨むことができた。【全学年】

(2) 課題と解決策

課題	解決策
●「名前、気分、天気、曜日」の単語の定着が難しい児童がいる (1年)	☆英語の授業は限られているので、学級で日常的に英語にふれる機会をつくる。(1年)
●英語の学習に自信が持てない児童がおり、センテンスではなく、単語のみの活動に終始している児童がいる。(2・3・4年)	☆児童に、覚えたセンテンスをデモンストレーションしてもらい聞く活動を作る。繰り返し活動を行い、目的・場面・状況の設定の工夫をして、表現に慣れ親しませる。(2・3年) ☆既習事項の復習を設定し、チャレンジタイムや家庭学習で習熟の機会を作る。(3・4年)
●声を出して活動することに抵抗を感じている児童がおり、積極性、語彙力に個人差がある。(4・5・6年)	☆ALTの後について復唱したり、ペアで練習を繰り返したりして定着できるようにする。(4・5年)
●アルファベットで自分の名前を正確に書けない児童がいる。(5年)	☆各自のアルファベット表記の名前の練習を繰り返し行う。振り返りシートの名前の欄は、毎回書かせて、担任が確認する(5年)
●人前で英語を話すことに、不安を感じている児童がいる(6年)	☆聴く側の反応(リアクション)の指導の工夫を行い、ペアやグループでの発表の場を増やし、自信を持って発表できるようにする。(6年) ☆グループ活動では、あえて仲のいい友達同士で組み、積極的に会話ができる場を設定する。(6年)

6 外部評価 (学校運営協議会)

成果	課題
○児童の興味・関心を高める電子黒板やデジタル教科書を利用した授業が見られた。 ○経験のあるALTが、発達段階に応じた教材の工夫(ゲームや身体活動)が見られた。	●マスク姿で発音しているのか分かりづらい子どもがいたので、感染予防をしつつ発問指導等を行ってほしい。 ●授業中の日本語をできる限り減らしてほしい。